

6.24「出入国管理法案」粉碎

波二第 全国統一闘争

首都国会闘争に決起せよ!!

〇 アジア人民世界人民と連帯して斗おう!!

日本人民は日本帝国主義の新しい野望を断じて許さない!!

現行出入国管理法(外国人登録法)の下に日本政府が行なっている外国人、特に朝鮮人、中国人に対する犯罪的な迫害と抑圧の教々は、われわれ「悪い日本人」を告発してやまない。

平和で豊かな市民たちの無関心とマスコミの黙殺の裏で、一九六七年の一年間に二〇二八人の中国人、朝鮮人に退去強制が申し渡され三三二人(うち四人はアメリカ人)が死刑を含む弾圧の待つ韓国、台湾などに送還された。ベトナム参戦を拒否して亡命してきた韓国軍人、金賢成は昨年二月、退去強制に抗議して大阪入管事務所で焼身自殺をとげている。

政府が今国会に提出している「出入国管理法案」は現行令をさらに全面的に改悪し、来日、在日外国人の一切を犯罪容疑者に仕立て上げ、上陸拒否、強制收容、退去強制の措置を簡素化、能率化するものである。この法案に対する怒りをこめて華僑学生「李智成」は四月奈良で自殺によって抗議の意志を表明した。

だが今こそ抗議の声を上げ、たたかいに立ち上らねばならないのは、我々日本人だ。

この法案は、日本人全体を外国人とりわけアジア諸民族に敵対させ、日本国民を排外的ナショナリズムにまきこみ日本をアジアの抑圧帝国、新しい反共軍事同盟の盟主に仕立て上げるための基礎づくりの役目を果たすからだ。アメリカ核帝国主義を補助しつつ、みずから本格的なアジア進出をもくろんでいる日本帝国主義のゆくえが、この国内法の中に明瞭な形をとって登場しているからだ。この法案こそ七〇年代安保自動延長体制の正体であり、「平和と民主主義の幻想に酔い酩している日本国民に対する真の方向からの挑戦である。日本帝国主義のアジア征服計画に加担するかしないかを、この法案はひとりひとりの日本人に問いかけているのだ。われわれは、この法案によって人間の生存をすら抹殺されようとしている在日朝鮮人、中国人、東南アジア留学生、反戦欧米人と固く手を結び、日本帝国主義の企図を内部からはり崩し粉碎しようとするものである。六、一全国統一入管闘争は、その隊伍を全国におしひろげる最初の重要なたたかいであり、輝やかな国際主義的戦列をつくり出すことに成功した。

われわれはさらに、あくまで国会審議を強行しよとする政府に対決しつつ、より強大な力量を勝ち取るために、六、二四第二波全国闘争を提唱する。首都の国会を包囲し、都心を示威する大デモンストレーションと、全国十三カ所の入管事務所、二カ所の收容所に対する抗議行動とを組み合わせ、帝国主義支配階級の心胆をおびやかそう!

良心ある日本人、日本帝国主義の打倒をめざす日本人はすべて、在日アジア人民との連帯を勝ち取る六、二四斗争に決起せよ! 日本帝国主義の新しい野望をくじくたたかいに決起せよ!

出入国管理法案粉碎を遂じ、七十年代アジア人民解放闘争と階級闘争の勝利の展望をきり開こう!

裏面へつづく

六月二十四日 PM 6 日比谷野外音楽堂へ結集せよ!

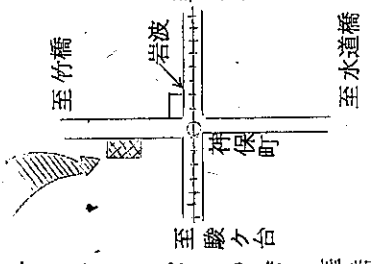
- スロークアン
- 他民族を追放し、迫害する「出入国管理法案」粉碎
- 他民族弾圧と強制送還の基地、大村収容所、全国入管事務所を廃絶せよ
- 帝国主義的排外主義を粉碎し、アジア人民との革命的連帯を勝ちとろう
- アジア人民に敵対する日米安保条約粉碎

六・二〇出入国管理法案粉碎討論集会

かつての墾殖侵略を支え、今はそれをきれいに忘れ去り、アジア人民に対する差別と侮蔑を日常性として定着させている日本人の在存を根底的に問いつつ、入管法の実態を知り、更なる戦線の拡大と深化を

日時 六月二十日 PM 六～九

会場 教育会館 (二六) 一一三四
神保町徒歩二分
至九段



報告者 チョップパリの会・華僑青年闘争委員会・語学共闘
在日朝鮮人・東南アジア留学生・
在日欧米人

主催 「出入国管理法案」粉碎東京実行委員会